

電気・電子部品市場向け： 加速度センサー温度特性評価試験のご提案

加速度センサー温度特性評価試験に対応

加速度センサーは、物体の温度変化を測定するセンサーであり、振動や傾き、衝撃を検出いたします。自動車の安全装備としてエアバッグシステムやABS(アンチロックブレーキシステム)に利用されています。またスマートフォンやタブレット、カーナビゲーションシステム、デジタルカメラの手振れ補正など、あらゆる分野に利用されています。

この加速度センサーの温度特性評価試験に使用頂ける：ASEシリーズをご紹介します。

特徴

● 振動に敏感な加速度センサーを試験ボックスに入れて温度特性評価が出来ます

- ・加速度センサーが振動の影響を受けないように試験ボックスと固定架台を用意しています。
冷凍機による振動を与えないようにするため、試験ボックスの床面に穴開けを行い、試験ボックス内に固定架台を設置して試験が行えるようにしました。振動の影響を気にせずに温度特性評価が可能です。

● 固定架台にも熱膨張、熱収縮を軽減できる素材で提案しています

- ・固定架台の熱膨張、熱収縮を可能な限り小さくするため、インバー(合金)を使用することにより、温度変化時の熱膨張変化率が小さくなるように施工いたしました。

温湿度供給装置



試験ボックス + 固定架台



試験事例

試験名	試験条件	試験目的
温度特性試験	+20℃～-40℃ 70 分以内 +20℃～+100℃ 30 分以内	・加速度センサーの温度ヒステリシス特性の評価試験

ASE_温湿度供給装置 ラインナップ一覧

型式	ASE-202	ASE-502	ASE-702	ASE-802
温度範囲	-30℃～+100℃	-40℃～+100℃	-30℃～+150℃	-40℃～+150℃
温度上昇 時間	+20℃～+100℃ 30分以内	+20℃～+100℃ 30分以内	+20℃～+150℃ 50分以内	+20℃～+150℃ 50分以内
温度下降 時間	+20℃～-30℃ 70分以内	+20℃～-40℃ 70分以内	+20℃～-30℃ 60分以内	+20℃～-40℃ 60分以内
処理風量	8m ³ /分	8m ³ /分	8m ³ /分	8m ³ /分
外形寸法 WHD(mm)	850×1625×850	1070×1790×900	1470×1965×1400	1470×1965×1400
最大消費 電力	5.7Kva	7.7KVA	12.0KVA	16.0KVA



【試験ボックス内に固定架台を設置】



【固定架台は床面と縁切り設置】

* 仕様の詳細につきましては、カタログ情報をご確認ください。

* ご不明点は営業担当者までお問い合わせください。

エスパックサーマルテックシステム株式会社

本社

住所：埼玉県戸田市美女木東 1-2-15

TEL：048-423-1800 FAX：048-423-1801

神戸事業所

住所：兵庫県神戸市東灘区御影石町 1-6-6

TEL：078-856-5181 FAX：078-856-5186

- 各営業所へお問い合わせください。
- 本リーフレットに掲載のサンプルはイメージです。
- 製品の改良・改善のため、仕様および外観、
その他を予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

LEAF0780 No. TTS_20250801J (2025年8月現在)